

鳥取県保健事業団における腎機能結果の現状について

公益財団法人鳥取県保健事業団 ○梶川 貴子 谷口 沙弥 谷口 奈央

I はじめに

日本では成人の 8 人に 1 人にあたる 1330 万人の方が慢性腎臓病と推測されている。生活習慣病との関連も深く、誰もがかかる可能性のある身近な病気であり、非常に危険な病気として近年急速に注目されている病気でもある。

当事業団では、この慢性腎臓病に焦点を向け、健康診断を受けられる方のデータを集計、考察すると共に今後の保健指導へ活かせるよう現状をまとめた。

II 対象および方法

2016 年度に当事業団で職域健康診断を受診し、クレアチニン検査を実施した男性 31,619 人、女性 27,322 人、合計 58,941 人の当事業団のクレアチニン判定別に年代別集計した。

さらにクレアチニン判定で要精検であり、且つ糖代謝、ヘモグロビン、血圧、BMI 判定のある男性 247 人、女性 173 人、合計 420 人を当事業団の判定基準別に集計した。事業団の判定基準については、表 1~4 に示した通りである。

III 結果

(1) クレアチニン検査結果

グラフ 1 で示すように、男女共に年代が上がるにつれて、要観察以上の割合が増加し、70 代以上で一番多かった。

(2) BMI

BMI : 18.4 以下 (要観察)、BMI : 18.5~24.9 (異常なし、差支えなし)、BMI : 25.0 以上 (要観察) の判定基準別に集計した。

グラフ 2 に示すように、BMI : 18.5~24.9 (異常なし、差支えなし) が男性 132 人 (64%)、女性 107 人 (62%) と一番多かった。

(3) 糖代謝

糖代謝では、当事業団判定①異常なし②差支えなし③要観察 (要注意) ④要再検⑤要精検⑥治療中の判定基準別に集計した。(判定基準 : 表 2)

グラフ 3 で示すように、異常なしが男性 145 人 (59%)、女性 128 人 (74%) と一番多く、次いで糖尿病治療中が男性 65 人 (26%)、女性 30 人 (17%) と二番目に多い結果となった。

(4) ヘモグロビン

ヘモグロビンでは、①異常なし②差支えなし③要注意④要再検⑤要精検の判定基準別に集計した。(判定基準 : 表 3)

グラフ 4 で示すように、異常なしが男性 135 人 (55%)、女性 83 人 (48%) と一番多い。次いで要精検が男性 67 人 (27%)、女性 48 人 (28%) と二番目に多く、男女ともに 3 割程度を示している。

(5) 血圧

血圧では、①異常なし②差支えなし③要観察 (要注意) ④要再検⑤要精検⑥治療中の判定基準別に集計した。(判定基準 : 表 4)

グラフ 5 で示すように、血圧では治療中が男女ともに一番多く、男性 154 人 (63%)、女性 105 人 (61%)

と6割を超えている。

IV 考察

クレアチニン精検者の中でもBMIに関しては異常なし、もしくは差支えなしの方が多く、肥満との直接的関係は認められなかった。

糖代謝とヘモグロビンに関しては異常なしの割合が一番多かったものの、次いで治療中もしくは要精検者の割合が多かったことから腎機能と何かしら関連があることが考えられる。

血圧に関しては、6割以上が高血圧治療中であったことから腎機能と直接的関係が認められるのではないかと考える。

V まとめ

クレアチニン要精検者と今回比較したヘモグロビン、糖代謝、血圧との因果関係は明らかにはならなかったが、生活習慣との関係性はあるのではないかと考えられる。

このことから、生活習慣病予防の徹底や、貧血有所見者への受診勧奨も慢性腎臓病を防ぐために必要となってくる。生活習慣の改善が慢性腎臓病予防になることも啓発していく必要がある。

また、今後の課題として、クレアチニン要精検者の生活習慣も併せて分析していきたい。

(表1) クレアチニンの判定基準

	異常なし	差支えなし	要観察(要注意)	要精検
クレアチニン	男性:0.61~1.04	~0.60	1.05~1.29	1.30~
	女性:0.47~0.79	~0.46	0.80~0.99	1.00~

(表2) 糖代謝の判定基準

	①異常なし	②差支えなし	③要観察(要注意)	要再検	要精検	治療中
糖代謝	血糖(空)70~109			110~125	126以上	糖尿病 治療中
	血糖(随)70~139			140~199	200以上	
	HbA1c~5.8	5.9	6.0~6.1	6.2~6.4	6.5以上	

(表3) ヘモグロビンの判定基準

	①異常なし	②差支えなし	③要注意	④要再検	⑤要精検
ヘモグロビン	男性:13.1~17.9	13	12.0~12.9	18.5~	~11.9
			18.0~18.4		
	女性:12.1~15.9	12	11.0~11.9	17.0~	~10.9
			16.0~16.9		

(表4) 血圧の判定基準

	①異常なし	②差支えなし	③要観察(要注意)	④要再検	⑤要精検	⑥治療中
血圧	収縮期:130未満かつ 拡張期:85未満	130~139 85~89	140~159 90~94	160~179 95~99	180以上 100以上	高血圧 治療中

(グラフ1)



